

2008 年

9 月 7 日（日曜日） - 生命を養う -

本日、「第 4 回京丹後市総合体育大会」が 2 千人を越える選手、関係者の皆様のご参加のもと盛大に開催されました。今年も 17 競技 24 種目にわたり市内 18 会場で熱戦がくり広げられました。町別対抗では網野町チームが総合優勝されご健闘を心から讃えたいと思いますし、選手の皆さん、とりわけ多くの社会人選手の皆さんは日頃からお仕事や家事の合間をやりくりされて練習を重ねられたもので、皆さんそれぞれ、成果をいかに発揮されて実り多い大会にさせていただいたのではないかと願っております。

スポーツはいうまでもなく、体を鍛え、心の豊饒と喜びを増進し、生命（いのち）を養うことにつながります。スポーツを通じ、その邪気のない活力の中で人の生命の芯がいきいきと養生され、元気や勇気も涵養され、日々の生活や生業の営み、また広くまちづくりの中にも生命力の弾性のようなものをいただけるように感じています。かようにスポーツは人や社会の生を養います。

ところで、市内の各会場まわりに車で移動していましたが、所々でたわわに実った水田の稲刈りが始まっていました。稲も何ヶ月もの間たっぷりと水分を吸い陽光を浴びて養分を蓄え、自らの生命とともにやがて人の生命を養います。そして本市には、もちろん稲や他の農作物に限らず多種多様な植生や、動物、昆虫等の莫大な口数にのぼる生命が大自然の中で生かされ、それぞれの命を養っています。

本市の面積は約 500k m²、府内でも有数の広域な面積を有していますが、山地部分が多いだけに凹凸のいわば皺（しわ）を伸ばした表面積でいえば府下でも一、二を競う面積になるのではないかと思います。本市の人口こそ約 6 万 3 千人で大都市の人口には遠く及びませんが、森林等の表面積の広大さからすれば、本市域に棲んでいる多種多様な生命の全口数は、それこそ都市部のそれ以上で星の数のように数えきれない程であり、一方で鳥獣被害の問題は深刻に受け止め対処していかなければならないのはいうまでもありませんがその重要性とはあくまで別の次元で、通常の大都市より格段に多くの生命が養われ、にぎわうまちであります。いわば生命の大都市であります。初秋の実りがにおう風の中で、数えきれないほどの生命のにぎわい、生のエネルギーにあふれる生命の息吹をあたり一面に感じながら、たくさんの元気をいただいて、自然、何かしらとても豊かな幸福感が湧き出るように感じています。